



LiLian 活動レポート

今回のこのコーナーは8月28日(水)に行われた
“リリアン 夏の旅”について報告します。

2013年8月28日(水)に図書館ボランティアLiLianのメンバー12人で
三重県四日市市にある子どもの本専門店「メリーゴーランド」と
「こどものまち図書館」に行ってきました!

子どもの本専門店ということで、どこを見回しても絵本と児童書でいっぱい!
小さい時に読んだ本を発見したりして、懐かしさで胸がいっぱいになりました♡

【行程表】 09:00 近鉄パッセ1F 近鉄改札前集合

09:21 近鉄名古屋

10:02 (乗り換え)四日市

10:07 伊勢松本

↓

10:08 メリーゴーランド到着

↓

10:45 店主の増田さんのブックトーク

11:15 選書スタート!

12:30 おひるごはん(併設カフェ)

14:00 こどものまち図書館見学(夕方解散)



店主である増田喜昭さんにブックトークは本当に面白くて時間を忘れてしまいました。私が一番印象に残ったのは、本の意味についての話です。

「やっぱり人間は、五感などから直接学びとる方が理解しやすい。その点で、本は絶対に勝てない。でも本を読むことによってもっと深く理解できる。」

ブックトークの後、選書会をしました。

みんな子どもの時に読んだ本を見つけたりして楽しそうに選んでいました。

お昼ご飯を食べてから「こどものまち図書館」へ。増田さんの生家を利用し作られた図書館は、たくさんの絵本に児童書、漫画もあり、メンバーはみんな黙々と読み込んでいました(なんと2時間も!!)

メリーゴーランドで選んだ本は図書館にあるので、みなさんも絵本に触れて童心に戻ってみるのはいかがでしょうか?



増田さんの
おすすめ本

『あるひ ぼくは かみさまと』

キティ・クローザー (著), ふしみ みさを (翻訳)

2010年にアストリッド・リンドグレーン記念文学賞を受賞した作品。

色合いが良い(日焼けしやすいため避けられやすいオレンジを使っている)。

ある日、少年は道端で座っている神様と出会い、少年は神様をお茶に

誘う。どんな姿にも形を変えられ、水の上歩くことができる神様は、

泳ぐことや木に登ることはできない。だから、本当は、神様も人間が

羨ましいというお話。